

日中省エネルギー・ 環境総合フォーラム

中日节能环保综合论坛

全体会議 両国閣僚講演



分科会

政策・制度・技術の紹介
テーマ別交流



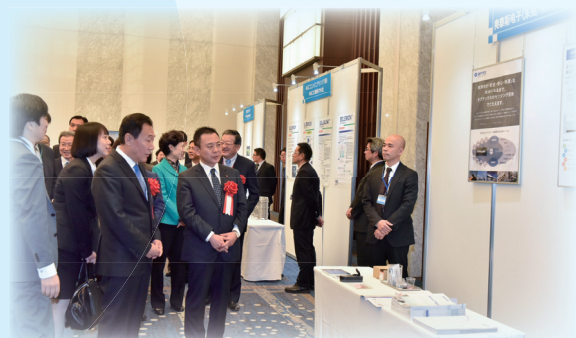
案件形成

協力プロジェクト披露



情報発信

技術PR資料展示・配布
オンサイトマッチング



日中省エネルギー・環境総合フォーラムは、日中間の省エネルギー・環境協力のプラットフォームとして、日本側は経済産業省、一般財団法人日中経済協会が、中国側は国家発展改革委員会、商務部が主催者となり、ほぼ毎年日本と中国において交互に開催してきており、本分野の交流を代表する活動として対中省エネ・環境ビジネス推進の一翼を担っています。

第9回は2015年11月29日に東京において、日本側から、林幹雄経済産業大臣、丸川珠代環境大臣、高木陽介経済産業副大臣、宗岡正二一般財団法人日中経済協会会長、中国側から、張勇国家発展改革委員会副主任、高燕商務部副部長、程永華中国駐日本国大使の出席の下、開催しました。日中官民関係者合わせて約750人（日本側約470人、中国側約270人）の参加を得て、省エネ・環境分野の26件の協力プロジェクト文書を交換するなど、成功裏に終了しました。

中日节能环保综合论坛如今成为中日节能环保领域具有代表性的合作平台，日方由经济产业省及日中经济协会，中方由国家发展和改革委员会及商务部主办，每年在日本和中国轮流举办，推动两国节能环保商务合作。

第9届论坛于2015年11月29日在东京召开，日本林干雄经济产业大臣、丸山珠代环境大臣、高木阳介经济产业副大臣、宗冈正二日中经济协会会长，张勇中国国家发展和改革委员会副主任、高燕商务部副部长、程永华中国驻日本国大使及两国各界大约750名（日方约470名、中方约270名）人士出席，会上还有26项节能环保领域的合作协议文本在双方领导人见证下得以交换，论坛取得了圆满成功。

主
催

経済産業省
一般財団法人日中経済協会

中華人民共和国国家発展改革委員会
中華人民共和国商務部
中華人民共和国日本国大使館（日本開催時）

■ 日中省エネルギー・環境総合フォーラム開催実績

	第1回	第2回	第3回	第4回
				
主な成果	両国の現状や直面する課題、日中省エネ・環境協力の意義について共通認識を醸成	Win-Win関係による具体的なプロジェクト創成に向けた相互努力の必要性を確認	具体的ビジネス形成に資する両国産業界のニーズとシーズのマッチングを促進	日中省エネ・環境分野の互恵協力と地方へのビジネス展開
主催	経済産業省、日中経済協会、国家発展改革委員会、			
日程	2006年5月29(月)～30日(火)	2007年9月27(木)～28日(金)	2008年11月28日(金)	2009年11月8日(日)
開催地	東京(ホテルオークラ)	北京(人民大会堂)	東京(グランドプリンスホテル新高輪)	北京(人民大会堂)
参加者数	850名(日方500、中方350)	1,000名(日方500、中方500)	1,100名(日方800、中方300)	1,000名(日方500、中方500)
主要出席者	二階俊博経済産業大臣 小池百合子環境大臣 千速晃日中経済協会会長 小宮山宏東京大学総長	甘利明経済産業大臣 張富士夫日中経済協会会長 南直哉JC-BASE副会長 望月晴文資源エネルギー庁長官	二階俊博経済産業大臣 吉野正芳環境副大臣 張富士夫日中経済協会会長	直嶋正行経済産業大臣 三村明夫日中経済協会副会長 南直哉JC-BASE副会長 石田徹資源エネルギー庁長官 内藤正久日本エネルギー経済研究所理事長
	姜偉新国家発展改革委員会副主任 薄熙来商務部長 王毅中国駐日大使	曾培炎國務院副総理 馬凱国家発展改革委員会主任 陳徳銘国家発展改革委員会秘書長 魏建国商務部副部長 姜偉新建設部部長 王鉄宏建設部総工程師	解振華国家発展改革委員会副主任 蔣耀平商務部副部長 崔天凱中国駐日大使	李克強國務院副総理 解振華国家発展改革委員会副主任 陳健商務部副部長 張少春財政部副部長 李幹傑環境保護部副部長
協力合意	5件	10件	19件	42件
分科会	①省エネ環境保護政策法規、標準、 製品認証 ②ESCO(省エネサービス企業) と融資担保(信用保証)メカニ ズム ③鉄鋼 ④ガラス、セメント、新型建築材料 ⑤再生可能エネルギー、電力、ガス、 石炭 ⑥自動車 ⑦日中長期貿易(電力、ごみ焼却、 石油)	①電力 ②自動車 ③電気・変圧器 ④鉄鋼 ⑤環境 ⑥省エネ政策 ⑦民生(建築)省エネ ⑧日中長期貿易(鉄道、湖沼浄化、 発電、環境税制、CDM)	①化学 ②自動車 ③海水淡水化・水処理、回収 ④省エネ技術(節電・節油)・省 エネ診断 ⑤発電 ⑥循環経済 ⑦日中長期貿易(下水汚泥処理、 湖底汚泥処理)	①トップランナー制度 ②循環経済 ③海水淡水化・水処理 ④自動車 ⑤発電/石炭 ⑥化学 ⑦日中長期貿易(汚泥処理)
地方視察	東京、北海道、中部、関西、北九 州など6コースを訪問	重慶訪問団(団長:南直哉JC- BASE副会長)33名を派遣	12コースに分かれて各地を訪問	日中経済協会の地方展開を基礎に 重慶市、天津市、唐山市等、7コー ス・9都市を訪問
その他	主要出席者による基調講演のほか、 テーマ別講演も実施	日本側企業・団体21社がパネル 展示に出展すると共に、23コマ の企業プレゼンテーションを実施	日本側企業・団体33社が企業パ ネル展示に出展	重慶市では、化学、石炭、ガス、 汚泥処理をテーマにミニフォーラ ムを開催

第5回



第6回



第7回



第8回



第9回



日中省エネ・環境協力プロジェクトの量的拡大から質的向上へ

省エネ・環境分野における互恵協力

省エネ・環境協力で日中相互信頼関係の深化に貢献。協力主体・地域の多様化、内容の具体化

2年振りの交流再開。日中省エネ・環境分野における協力の必要性を再確認

COP21に向け日中がクリーン発展で協力強化することを共通認識に

商務部、中国駐日大使館 ※（※日本での開催時のみ主催）

2010年10月24日(日)	2011年11月26日(土)	2012年8月6日(月)	2014年12月28日(日)	2015年11月29日(日)
東京(グランドプリンスホテル赤坂)	北京(人民大会堂、国家会議中心)	東京(椿山荘)	北京(遼寧大廈)	東京(ザ・プリンス パークタワー東京)
1,100名(日方700、中方400)	1,000名(日方500、中方500)	1,000名(日方600、中方400)	500名(日方250名、中方250名)	750名(日方約470名、中方約270名)
大島章宏経済産業大臣 池田元久経済産業副大臣 近藤昭一環境副大臣 張富士夫日中経済協会会長 細野哲弘資源エネルギー庁長官	枝野幸男経済産業大臣 岡本巖日中経済協合理事長 高原一郎資源エネルギー庁長官 佐々木伸彦経済産業省通商政策局長 丹羽宇一郎駐中国日本国大使	枝野幸男経済産業大臣 細野豪志環境大臣 張富士夫日中経済協会会長 高原一郎資源エネルギー庁長官	高木陽介経済産業副大臣 渡文明日中経済協会副会長 上田隆之資源エネルギー庁長官	林幹雄経済産業大臣 丸川珠代環境大臣 高木陽介経済産業副大臣 宗岡正二日中経済協会会長 日下部聡資源エネルギー庁長官
張曉強国家発展改革委員会副主任 蔣耀平商務部副部長 程永華中国駐日大使	李克強國務院副總理 張平国家発展改革委員会主任 尤權國務院副秘書長 謝旭人財政部部長 李金早商務部副部長 李栄燦商務部部長助理 張力軍環境保護部副部長	張平国家発展改革委員会主任 高虎城商務部国際貿易交渉代表 程永華中国駐日大使	解振華国家発展改革委員会副主任 高燕商務部副部長	張勇国家発展改革委員会副主任 高燕商務部副部長 程永華中国駐日大使
44件	51件	47件	41件	26件
①LED照明／省エネビル ②循環経済 ③水処理・汚泥処理、ごみ焼却発電 ④自動車 ⑤低炭素(CCS-EOR) ⑥石炭・火力発電 ⑦中小企業の省エネ・ESCO ⑧日中長期貿易(汚泥処理、環境金融)	①トップランナー制度 ②グリーン建築物 ③水処理・汚泥処理 ④循環経済 ⑤新エネルギー自動車 ⑥石炭・火力発電 ⑦日中長期貿易(排水処理、汚泥処理、自動車リサイクル)	①循環経済 ②水・汚泥処理 ③エネルギー管理システム ④グリーン建築・LED ⑤自動車 ⑥石炭・火力発電 ⑦分散型エネルギー ⑧日中長期貿易(自動車リサイクル、汚泥処理)	①エネルギー管理システム・LED ②石炭火力発電(クリーンコールテクノロジー) ③大気汚染対策 ④循環経済 ⑤次世代自動車 ⑥日中長期貿易(自動車リサイクル、汚泥処理)	①エネルギー多消費企業の省エネ対策 ②スマートシティ ③次世代自動車 ④循環経済 ⑤石炭火力発電 ⑥日中長期貿易(自動車リサイクル、汚泥処理)
14都道府県、22都市を9コースに分かれて訪問	分科会テーマをベースに、6コースに分かれて9省・直轄市を訪問	分科会テーマをベースに、9コースに分かれて各地を訪問	長期貿易(LT)分科会のみ、江蘇省を訪問してリサイクルを中心とする企業を視察	6分科会、7コースで各地視察。張勇副主任も独自視察実施
日本側企業・団体32社が企業パネル展示に出展。優良事例として、川崎重工業、安徽海螺集団が案件を紹介	日本側企業・団体17社が企業パネル展示に出展。晩餐会には張平主任、解振華発改委副主任、枝野大臣らが出席	日本側企業・団体15社が企業パネル展示に出展。これまでの調印案件についてフォローアップ調査を実施し、結果を発表	ノーベル物理学賞受賞者の天野浩名古屋大学大学院教授と王毅中国科学院政策所所長が記念講演。その他、王小康中国節能環保集団董事長が基調講演。	日本側企業団体14、中国1(大連市)のパネル展示。「日中企業による協力プロジェクト」として、小久保憲一日立製作所執行役常務・中国総代表、彭寿中国建材国際工程集団董事長が報告

■ 全体会議

◆ 林幹雄 経済産業大臣



我が国が培った技術やノウハウは中国が重視する資源節約型の「グリーン発展」に資するもの。本フォーラムは、日中の政府及び産業界の互恵的な協力関係構築のプラットフォームとして、重要な役割を果たしてきた。

中国経済の構造は変化しつつあり、サービス業や消費のウェイトがより高い、「中高速成長」の経済への転換が図られている。今後は、サービス産業や一般家庭を含む幅広い需要家のエネルギー利用の最適化を図るため、IoT等の新しい技術を活かした、きめ細かな対策を進めて行く事が重要。

日中が協力して取り組むべき課題は多岐に渡る。例えば、環境保護および気候変動対策に資する物品の貿易自由化。対象品目が幅広いものとなる形で、早期に合意が成立するよう、両国が協力することが重要。環境分野での国際標準化機構への国際規格の共同提案などの協力を進めていきたい。

COP21では、イノベーションも大きな課題の一つ。我が国は、来年春までに「エネルギー・環境イノベーション戦略」を策定し、抜本的な排出削減効果が見込まれる革新的技術の特定とその実用化加速に向けて資金や人材を集中投下する方向性を示す予定。本フォーラムも活用しつつ、中国とも連携・協力を進めていきたい。

我国培育的技术及积累的经验有助于中国注重的资源节约型“绿色发展”。本论坛作为日中两国政府及产业界建立互惠合作关系的平台，起到了重要的作用。

中国的经济结构在逐步发生变化，正在向注重服务业及消费的中高速经济发展模式转变，今后为了实现服务行业、一般家庭等广泛领域的能源需求方的能源利用最佳化，有必要通过利用IoT等新的技术，推进具体细致的对策。

需要日中合作推进的课题很多，例如、有助于环境保护和应对气候变化的商品的贸易自由化问题。为了尽早达成使对象商品广泛化的协议，两国的合作十分重要。希望通过两国的合作，向国际标准化机构共同提出环境领域有关国际规格的建议。

在COP21大会上，创新也是一个重要课题。我国将在明年三月之前制定“能源、环境创新战略”。为了确定可从根本上达到减排效果的革新性技术及其快速实用化，将在该战略中明确资金及人才的集中投入。我们将进一步使本论坛发挥作用，和中方加强合作。

◆ 高木陽介 経済産業副大臣



日中は世界第1位及び第5位のエネルギー消費国。温室効果ガスの排出量は日中両国で世界全体の4分の1を占める。これらの事実は、日中両国が、世界的な課題であるエネルギー・環境問題の解決に大きな責任を有していることを示している。日中両国は、世界のエネルギー・環境問題の解決に向けて、互いの知見を共有し、協力関係を深化させることが期待されている。

我が国の新しいエネルギーミックスにおいては、2030年時点で、更なる省エネルギー対策を導入した結果として、原油換算で5000万キロリットルを超える省エネ量を見込む。COP21に向けて我が国が提出した温室効果ガス削減目標の達成に向けても、エネルギー効率の改善が中心的な役割を果たすこととされている。

都市化が急速に進む中国において、今後、特に重要なのは、「都市におけるエネルギー需給構造の変革」である。我が国では、地域単位でエネルギーを賢く使う「スマートコミュニティ」の構築を進めている。例えば、再生可能エネルギーやコージェネレーションなど地域で作られたエネルギーをエネルギー管理システムを活用して地域で消費することを促進している。また、消費者が持つ蓄電池などの設備や省エネの取組を組み込み、地域エネルギーを最大限活用すると同時に、システムの安定化に寄与する仕組みを作る取組を進めている。今後、中国との間で、この分野での協力を積極的に進めたい。

日中两国是世界第一和第五的能源消费国，两国的温室效应气体排放量占世界总量的四分之一。这一事实显示日中两国对于解决能源环境问题这一世界性课题具有重大责任。期待日中两国为解决世界的能源，环境问题，共享智慧，加深相互合作关系。

我国在新的能源搭配计划之下，通过进一步实施节能对策，预计在2030年可实现原油换算为5000万千升的节能量。为实现将在COP21大会上我国提出的温室效应气体减排目标，改善能源效率将会起到核心作用。

在城市化迅速发展的中国，今后“城市能源供需结构的变革”极为重要。我国正在推进以区域为单位有效使用能源的“智能社区”建设。例如，通过利用能源管理系统促进区域内生产的可再生能源及热电联产等能源在区域内消费，同时将消费者的蓄電池等设备和节能措施加以配套，使区域能源得到最大限度的有效利用，形成有助于稳定供电的机制。今后希望与中国在这一领域积极推进合作。

◆ 張勇 国家發展改革委員会副主任



省エネ・環境保護は中国の基本国策。中国共産党第18期五中全会では、「創新・協調・綠色・開放・共有」の發展理念により今後5年間の中国の經濟社会の青写真を描いた。

省エネ・環境は中日經濟協力の一大ハイライトであり、先般も双方は戰略的互恵關係を引き続き推進し、省エネ・環境等分野の実務交流に協力することで合意した。省エネ・環境協力を新しい段階に進めるため以下4つを提案する。

- (1) 双方向、多方向のメカニズムを引き続き發揮。中日省エネ・再生可能エネルギーワーキングチームによる政策對話の強化。大氣汚染等の地域的な環境問題への共同対応。大連、曹妃甸等中日韓經濟モデル基地建設推進。
- (2) モデルプロジェクト協力を不断に深化。
- (3) 省エネ・環境技術交流を着実に強化。先端的・高価値技術で第三国市場を開拓。
- (4) 日本での省エネ研修など人材交流を引き続き強化。政策・技術の相互交流を実施。

双方は引き続き本フォーラムというプラットフォームを活用し、両国の省エネ・環境等分野の実務協力を深化し、中日間のグリーン發展を共に開拓するために新たな貢獻をしていこう。

节能环保是中国的基本国策。中国共产党第18届五中全会提出了“创新、协调、绿色、开放、共享”的发展理念，描绘了今后五年的中国经济社会的发展蓝图。

节能环保是中日经济合作的一大亮点，前不久双方就继续推进战略互惠关系，加强节能环保等领域的务实交流达成了共识。为了将节能环保合作推向新台阶，提出以下4点建议。(1) 继续发挥双边、多边机制作用。加强中日节能，可再生能源工作组的政策对话，共同应对大气污染等区域性环境问题，推进大連、曹妃甸等中日韩经济示范基地建设。(2) 不断深化示范项目的合作。(3) 切实加强节能环保技术交流合作，利用高端、高价值技术开拓第三方市场。(4) 继续加强在日本进行节能研修等的人才交流，推进政策、技术的相互交流。

双方继续发挥本论坛的平台作用，深化两国节能环保等领域的务实合作，为了共同开拓中日两国的绿色发展做出新的贡献。

◆ スピーチ及び講演

丸川珠代 環境大臣
宗岡正二 一般財団法人日中経済協会会長

高燕 商務部副部長
程永華 中国駐日本国特命全權大使

上記内容は日中経済協会ウェブサイトにてご確認頂けます。 ☎ <http://www.jc-web.or.jp/>

◆ 調印案件フォローアップ 日下部 資源エネルギー庁長官



(1) 調印案件の傾向と進捗

第1～8回累計259件には、日本企業・団体延べ341社、中国企業・団体延べ293社が参加。分野別では約半数が省エネ、約4割が環境、残りが再生可能エネルギー。4割にあたる約100件が当初の目標を達成。傾向として、当初の関係構築を目的としたものから、日本の先端技術の供与や実証事業、合弁会社設立など事業化により近い内容が増加。

(2) 課題と対応策

目標達成に至らなかった事業の主な理由は、市場環境の変化に起因するもの。省エネ・環境対策は、経済性だけでは計れない社会的メリットも多く、政府間でも引き続き制度の構築や人材育成等の協力を進めたい。

(3) 成功事例から見える未来への道筋

過去の成功事例から、双方が適切なパートナーと互いの強みを融合させ、競争力を高める努力を重ねていくことが長期的に成功する秘訣と確信。

(1) 签约项目的趋势及进展情况

在第1届至第8届论坛期间，日方企业及团体共计341家、中方企业及团体共计293家累积签署的项目达259项。其中节能项目大约占半数，约40%是环保项目，其余是可再生能源项目。相当于40%的大约100项已达到预期的目标。总体情况来看，与以建立相互关系为主的初期项目相比，引进日本的先进技术、进行验证试行、到成立合资公司等逐渐实现事业化的项目有所增加。

(2) 课题及对策

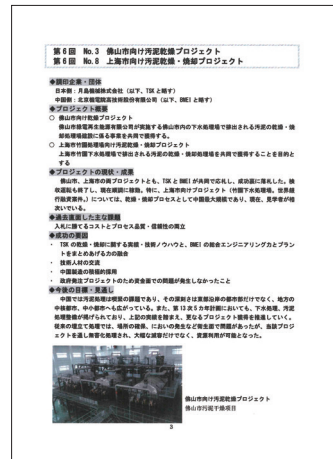
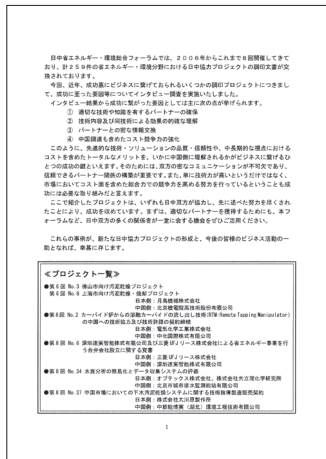
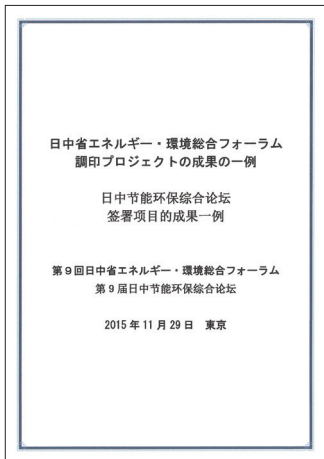
项目未达到预期目标的项目主要原因是由于市场环境的变化。节能环保对策具有许多不仅能以经济性衡量的社会效应，因此，政府之间将继续协助推进制度建设及人才培养等。

(3) 从成功的事例中展望未来的方向

从以往的成功事例中可以确信，作为合适的合作伙伴，双方结合彼此的优势，不断致力于提高竞争力，才是长期取得成功的关键

■ 成果発表

第9回フォーラムにおいては、これまで交換された協力プロジェクトのうち、近年成功裏にビジネスに繋げておられるいくつかの調印プロジェクトについて、成功に至った要因を分析した結果を調印プロジェクトの成果の一例として取りまとめて配布いたしました。



■ 分科会

◆ エネルギー多消費企業の省エネルギー対策分科会

中国では、エネルギー消費の多い産業において特に省エネルギー化に向けた取組が進められており、日本企業の有する先進的な省エネルギー技術への関心が益々高まっている。このため、当分科会は、日本企業の工場向けの優れた省エネ手法、技術に関する発表等を行い、中国の重点エネルギー使用分野における更なる省エネ化に向けた取組を促進することを目的として開催された。

日本側からは、工場分野の省エネ対策、ヒートポンプ技術導入の取組、インバーター技術導入の取組、中国ガラス業界における省エネ・環境改善の取組が発表されるとともに、中国側からは、中国の最新省エネ政策、エネルギー多消費企業の管理政策、企業の省エネ取組等の発表が行われ、活発な議論が行われた。

地方視察では、マルハニチロ宇都宮工場にあるノンフロン冷凍機、小松製作所小山工場の省エネ取組、省電力化に取組む北海道ワイン、北海道熱供給公社の天然ガスコージェネ・熱供給システムを使用している札幌駅南口を訪問し、意見交換を行った。

重点用能単位节能政策分论坛

中国正在高耗能产业中推进节能措施，对于日本企业拥有的先进节能技术也日益关注。本论坛会以介绍日本企业用于工场的优秀节能技巧和技术，促进中国重点用能领域进一步推进节能为目的进行举办。

日方介绍了工厂领域的节能对策、引进热泵、变频技术的情况、在中国玻璃行业进行的节能及改善环境的举措。中方介绍了中国最新的节能政策、能源高消费企业的管理政策、企业的节能情况，双方进行了热烈的讨论。

分论坛结束后又前往地方城市访问考察了 MARUHA NICHIRO 公司（日魯）宇都宮的无氟利昂冷冻机工厂、小松制作所小山工场的节能情况、推进节电工作的北海道葡萄酒公司、利用北海道热供给公社的天然气热电联产・热供应系统的札幌车站南口，并交换了意见。

エネルギー多消費企業の省エネルギー対策分科会

会場：ザ・プリンスパークタワー東京「ざざんか」

時間：14:00～17:00

共同議長

日本側：辻本圭助 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー対策課長

中国側：趙懷勇 国家発展改革委員会資源節約環境保護司節能処長

内 容	
開幕挨拶	日本側：辻本圭助 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー対策課長 中国側：趙懷勇 国家発展改革委員会資源節約環境保護司節能処長
「第13次五年計画（十三・五）」における省エネ目標と政策	戴彦徳 国家発展改革委員会能源研究所副所長
中国におけるエネルギー多消費企業の管理政策	房慶 中国節能協会中国計量科学研究院副院長
工場分野の省エネルギー対策について	牛尾好孝 一般財団法人省エネルギーセンター国際協力本部参与 省エネルギー技術（ヒートポンプ）導入の取組について 深野修司 株式会社前川製作所商品化実行センター
日本企業の省エネルギー技術（インバーター技術）導入の取組について	宮崎守弘 株式会社日立産機システム海外営業部海外グループ部長代理
中国ガラス業界における省エネ、環境改善	若倉清悟 旭硝子株式会社技術本部エンジニアリングセンター事業推進統括グループリーダー
高効率と省エネで、中国をリード	趙賢 中国華能集団司安全監督與生産部主任
省エネ排出削減における経験交流	姚旦 中国建材国際工程集团有限公司副總經理
エネルギー多消費企業に向けたスマート空圧システム技術	麻刺鋒 杭州首速科技股份有限公司副總裁
総括発言	日本側：辻本圭助 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー対策課長 中国側：趙懷勇 国家発展改革委員会資源節約環境保護司節能処長

◆ スマートシティ分科会

中国の13次五カ年計画の建議では、「新型都市化の推進」と「経済発展方式の転換推進」の結合を意味する「綠色發展」という理念が打ち出された。日本では、特に2011年以降、地域単位でエネルギーを賢く使う「スマートコミュニティ」の取組が進められており、地域エネルギー管理システム等の技術や経験の導入が期待されている。

このような背景を踏まえ、分科会では、日本の次世代エネルギー・社会システム実証事業成果例、中国都市化の選択と先行的な取組、日本のスマートシティの先進事例「柏の葉」、グリーンシティ・スマートシティとファイナンスについて発表があり、活発な意見交換が行われた。

地方視察では、京都及び大阪においてオムロンコミュニティプラザ、ナレッジキャピタル、けいはんなプラザ、舞洲清掃工場などのスマートシティ関連の取組を視察し、意見交換を行った。

城市绿色管理分论坛

中国在第十三个五年规划中提出了“推进新型城市化”与“推进经济发展模式的转换”相结合的绿色发展理念。日本自从2011年以来一直致力于推进以区域为单位有效使用能源的“智能社区”建设，期待今后将引进区域能源管理系统的技术及经验。

在这一背景之下，分论坛介绍了日本新能源・社会系统验证项目的成果事例、中国城市化的选择及先行事例、日本智能城市的先进事例“柏之叶”项目、绿色城市・智能城市与金融，并积极的交换了意见。

分论坛后，考察了京都及大阪的欧姆龙 Community Plaza、Knowledge Capital、京阪奈 Plaza、舞洲清扫工场等智能城市相关设施，并交换了意见。

◆ 次世代自動車分科会

本分科会は、第1回フォーラムから開催する分科会である。

分科会では、日中双方の政府関係者による次世代自動車の開発・普及に関する施策、現状の紹介を皮切りに、日本と中国の自動車メーカー及び関係機関の代表がそれぞれの取り組みを紹介した。2014年、覚書調印した「日中新エネルギー自動車及び充電インフラ共同研究」について、日本自動車研究所と中国自動車技術研究センターがこの一年間の実施状況の中間報告を行った。これについては、次回フォーラムにおいて最終報告を行うこととした。

地方視察では、トヨタ自動車と日産自動車などの関連施設を訪れ、次世代自動車の開発や普及策について意見交換を行った。

新能源汽车及基础设施的协同发展分论坛

新能源汽车是自从第一届论坛连续举办的分论坛。

在本分论坛上，首先由日中双方政府相关人员介绍了有关新能源汽车开发和普及的政策及现状，之后日中两国的汽车厂商及相关机构代表分别介绍了各自的情况。日本汽车研究所及中国汽车技术研究中心针对去年签署的“日中新新能源汽车及充电基础设施共同研究”备忘录的1年实施情况进行了中间报告。本项目将在下届论坛进行最终报告。

地方考察活动访问了丰田汽车公司及日产汽车公司等的相关设施，并针对新能源汽车的开发和普及措施交换了意见。

◆ 循環経済分科会

循環経済分科会の共同議長は、経済産業省リサイクル推進課の深瀬課長と国家発展改革委員会の陸冬森循環処長が務め、日中両政府からは、一度製品化したものを廃棄することなく資源として回収し、それを循環して産業化することにより持続的発展を実現することの重要性とそれに向けた政策的措置が詳述された。地方自治体、大学研究部門、企業サイドからは都市化の進展に伴い深刻化する各種廃棄物を再資源化する“都市鉱山”の開発と“静脈産業”の展開が提起された。

日中双方の講演者はそれぞれの団体企業の観点から成果報告、短期長期の課題の提起を行い、日中間での国際的事業協力を報告し、相互理解を深めると同時に、一段の相互協力の可能性を模索した。講演者間では事前に参加者情報を交換する形で講演のマッチング、密度の向上を図り、また、ネットワークングで各分野での新たなビジネス交流も模索された。

地方視察では北海道にてペットボトル、家電、自動車リサイクル関連企業を視察した。

資源循環利用体制构建及推进措施分论坛

循环经济分论坛的共同主持人是经济产业省回收再利用推进课的深瀬课长和国家发展和改革委员会的陆冬森循环处处长。日中两国政府分别阐述了一旦形成的产品不能将其废弃而是作为资源进行回收，通过循环形成产业化，实现可持续发展的重要性及相关的政策措施。地方政府、大学研究部门、企业也分别针对对城市化的进展带来的严重的各种废弃物问题，提出了为实现再资源化如何开发这些“城市矿山”、形成“静脉产业”的意见。

日中双方的报告人分别从各自的团体及企业的角度介绍成果，提出了短期及长期的问题，同时介绍了日中之间的国际合作情况。不仅加深了相互理解，还探索了进一步加强相互合作的可能性。由于演讲者之间通过事先交换各自的信息进行了演讲内容的对接，从而提高了内容的密度，还通过联网探索了各领域新的商务交流。分论坛之后考察了北海道的PET饮料瓶、家电、汽车再生利用相关企业。

スマートシティ分科会

会場：ザ・プリンスパークタワー東京「ボールルームG」

時間：14:00～17:00

共同議長

日本側：戸邊千広 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課社会システム推進室長

中国側：王静波 国家発展改革委員会資源節約環境保護司総合協調指導処長

内 容	
開幕挨拶	日本側：戸邊千広 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課社会システム推進室長 中国側：王静波 国家発展改革委員会資源節約環境保護司総合協調指導処長
北九州スマートコミュニティの挑戦	田原直 北九州環境局環境未来都市推進部水素社会創造課長 中国都市化の新たな選択—グリーン・低炭素シティー 臺灣側 中国城市・小城镇改革发展センター副主任
横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)の取組と今後の展開について	黒水公博 横浜市温暖化対策統括本部副本部長
持続可能な発展の堅持 都市のグリーン・マネジメントのイノベーション	—浙江湖州市生態文明先行区モデルエリア建設の取組みと成果— 費新章 湖州市発展改革委員会副主任
先進的なスマートシティの構築について	宋千治 株式会社日建設設備設計グループエネルギー・情報計画部長
スマートエネルギーは都市エネルギー細分化管理の新たなチャンス	潘家超 中国智慧能源産業技術創新戰略連貫執行秘書長
スマートシティ実現への取り組み—柏の葉事例を中心に—	赤津昌幸 株式会社日立製作所社会イノベーション事業推進本部 ソリューション・ビジネス推進本部グローバル戦略室長
グリーンファイナンスによるグリーンシティ発展支援	李曉文 中国銀行業監督管理委員会政策研究局処長
スマートシティ構築に資するファイナンス手法としてのESCO事業	井手義浩 DMCエネルギーマネジメントサービス(深圳) 総経理
総括発言	日本側：戸邊千広 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課社会システム推進室長 中国側：王静波 国家発展改革委員会資源節約環境保護司総合協調指導処長

次世代自動車分科会

会場：ザ・プリンスパークタワー東京「ボールルームF」

時間：14:00～18:00

内 容	
司会：挨拶	日本側：村上樹人 経済産業省製造産業局自動車通商企画官 中国側：呉衛 国家発展改革委員会産業協調司機械裝備処調研員
日本の次世代自動車振興施策	吉田健一郎 経済産業省製造産業局自動車課電池・次世代技術・ITS推進室長
中国の新エネルギー自動車政策及び普及状況	呉衛 国家発展改革委員会産業協調司機械裝備処調研員
中国の新エネルギー自動車充電施設の計画と発展政策	武農 国家能源局電力司幹部
「日中新エネルギー自動車及び充電インフラに関する共同研究」中間報告	木戸彰彦 日本自動車研究所FC・EV研究部研究主幹 王成 中国自動車技術研究中心北京工作部副主任
新エネルギー車の普及促進に向けた日産の取組	矢島和男 日産自動車株式会社EV・HEV技術開発本部アライアンスグローバルダイレクター
北汽集団の新エネルギー車に対する取組・北京の新エネルギー車の普及状況	劉偉 北汽集団新エネルギー部副部長
都市交通システム「Ha:mo」と各地域の実証について	山本昭雄 トヨタ自動車株式会社ITS企画部部長
中国の新エネルギー車産業及び技術発展の全体状況の紹介	王成 中国自動車技術研究中心北京工作部副主任
内燃機関の将来展望	人見光夫 マツダ株式会社常務執行役員
中国製造2025省エネ・新エネルギー自動車発展のロードマップ	何勝 中国汽車工業協会技術部主任
総括発言	中国側：呉衛 国家発展改革委員会産業協調司機械裝備処調研員 日本側：村上樹人 経済産業省製造産業局自動車通商企画官

循環経済分科会

会場：ザ・プリンスパークタワー東京「さくら」

時間：14:00～17:45

共同議長

日本側：深瀬聡之 経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課長

中国側：陸冬森 国家発展改革委員会資源節約環境保護司循環処長

内 容	
開会挨拶	日本側：深瀬聡之 経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課長 中国側：陸冬森 国家発展改革委員会資源節約環境保護司循環処長
日本政府の資源循環政策の現状と今後の展開	梅田英幸 経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課課長補佐
中国の循環型経済発展の全体状況	陸冬森 国家発展改革委員会資源節約環境保護司循環処長
地方自治体セッション「日中の資源循環型都市づくりについて」	環黄海地域の循環型社会の構築 石田謙悟 北九州市環境局環境国際戦略担当理事
大連循環産業経済と中日韓循環経済モデル基地建設状況の紹介	尚書臣 大連循環産業経済区党委員会副書記、管理委員会副主任
学術研究セッション「日中の資源循環分野における学術交流について」	日中都市廃棄物循環促進プロジェクトの成果とEPR-Asia 石川雅紀 神戸大学大学院経済学研究科教授
中国の資源循環利用産業と国際資源循環	社数政 同済大学循環経済研究所所長
企業セッション「日中企業における資源循環の取組について」	中国大連市における電炉ダストからの亜鉛リサイクル事業 佐藤純 東邦亜鉛株式会社環境・リサイクル事業部営業部長
「都市鉱山を開発し、美しい中国を」	張翔 格林美(GEM)有限公司総経理補佐
天津TEDAのグリーン発展—リードムの取組	浦出陽子 株式会社リードムサステナビリティ・ソリューション部長
中国再生資源産業発展の新形態	張艶会 中国物質再生協会副秘書長
総括セッション	深瀬聡之 経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課長 陸冬森 国家発展改革委員会資源節約環境保護司循環処長
交流セッション	ネットワークング

◆ 石炭火力発電分科会

石炭火力発電分科会は、今回もフォーラムの分科会の一つとして開催され、共同議長（モデレーター）は、日本側が経済産業省資源エネルギー庁長官官房総合政策課の塚田企画官、中国側が国家能源局電力規劃センター副主任・電力規劃設計総院の謝院長が務め、日本側からは石炭火力発電所におけるクリーンコールテクノロジーや省エネ・環境技術・設備と日中間の協力動向を紹介を行い、中国側からは第13次五カ年計画策定に向けた石炭火力発電分野の政策・技術動向や業界団体・企業の取組み等の紹介を行い、意見交換を行った。

地方視察では、電源開発橋湾火力発電所にて優れた環境設備と周辺環境に配慮された施設運営を見学し、九州大学次世代燃料電池産学連携研究センターでは、最先端の燃料電池の研究開発動向について、中国側からは多くの質問が提起され、活発な意見交換を行った。

洁净煤技术和煤炭火力发电分论坛

煤炭火力发电依然作为本论坛的分论坛得以召开。由日方经济产业省资源能源厅长官官房综合政策课的塚田企画官和中方国家能源局电力规划中心副主任・电力规划设计总院的谢院长共同主持。日方介绍了煤炭火力发电站的清洁煤炭技术与节能・环境技术和设备与日中合作趋向，中方介绍了第十三个五年规划中的煤炭火力发电相关政策和技术的动向与行业团体及企业的情况，并交换了意见。

在地方考察活动中参观了电源开发公司桥湾火力发电站优秀的环境设备及顾及周边环境的设施运营情况，参观九州大学新能源燃料電池産学合作研究中心时，中方针对最先端的燃料電池研究开发动向踊跃提问，积极的交换了意见。

◆ 日中長期貿易分科会

日中長期貿易協議委員会・省エネ等技術交流促進部会と、日中長期貿易協議委員会は、省エネ・環境ビジネス支援・促進の対話の場として、第1回フォーラム以来、当フォーラムにおける分科会の形で毎回定期交流を行っている。今回は、従来より当分科会で議論されてきた「自動車リサイクル（第1部）」と「汚水・汚泥処理（第2部）」の2テーマ構成により実施。第1部では、経済産業省と商務部から政策・制度の紹介があったほか、日本側企業からは、使用済み車輛の回収・解体、中古車マーケット、リサイクル部品の流通プラットフォームのそれぞれの角度から発表が実施され、自動車静脈産業を包括する充実した内容となった。

地方視察では、「自動車リサイクルチーム」と「汚水・汚泥処理チーム」の2チームに分かれて、石川・東京近郊にて関連企業や下水処理場等を訪問し、我が国の先進的事例や成熟した運転・操業経験、関連技術・設備等を視察し、活発な交流を行った。

中日長期貿易分论坛

日中长期贸易协议委员会节能环保技术合作分会与日中长期贸易协议委员会作为支援和促进节能环保商务合作的对话会场，自第一届论坛以来作为分论坛每次进行定期交流。这次的论坛由以往讨论的“报废汽车回收利用（第1部）”及“污水、污泥处理（第2部）”构成。在第1部里由经济产业省及商务部分别介绍了相关政策和制度，同时日方企业分别从事旧车回收、拆解、二手车市场、再生利用零部件的流通平台等角度进行了介绍，内容覆盖了整个汽车静脈产业，十分充实。

地方考察活动分为“汽车再生利用组”和“污水、污泥处理组”分别访问了石川县和东京近郊的相关企业及下水处理场等，考察了我国的先进项目、成熟的运转・作业经验及相关技术和设备，进行了热烈的交流。

■ シーズ情報発信（技術一覧及び企業パネル展示）

本フォーラムでは、日本企業の省エネ・環境技術設備をPRする技術一覧を配布するとともに、特設展示コーナーを設け、日本企業14社が自社の技術・ソリューションの概要や中国での実績例をパネルで紹介しました。

中国側からは大連市が中日韓循環経済モデル基地について展示しました。

【パネル展示・出展企業一覧】青文字はPR内容

- 大連循環産業経済区
大連日中韓循環経済モデル基地
- 日中環境協力支援センター有限公司
日中環境ビジネスコンサルティング
- 山陽特殊鋼株式会社
ボイラ用ステンレス鋼管
- 一般財団法人日中経済協会
日中ビジネス機会の創出（大気汚染対策モデル区等）
- 株式会社トーフ建設
六価クロム土壌汚染環境復元資材
- 株式会社奥誠ウォーターソリューションズ
再生水処理技術
- 株式会社iAX
野菜の栽培器
- AGC エンジニアリング株式会社
イオン交換膜「SELEMION」の排水処理への応用
- オプテックス株式会社
簡易水質測定サービス「WATER it」
- JSR 株式会社
蓄熱材料
- 巴工業株式会社
連続高速炭化装置
- オルガノ株式会社
塵埃、排気ガス、花粉、細菌・ウイルス、放射性物質、悪臭等除去
- 月島機械株式会社/月島環境エンジニアリング株式会社
「廃液燃焼設備」及び「汚泥乾燥・焼却設備」
- 株式会社日吉
ダイオキシン分析、食品分析等
- 横河電機株式会社
エネルギーの見える化・エネルギー効率最適化ソリューション

石炭火力発電分科会

会場：ザ・プリンスパークタワー東京「しゃくなげ」
時間：13:30～17:00
共同議長（モデレーター）
日本側：塚田裕之 資源エネルギー庁長官官房総合政策課企画官（石炭政策担当）
中国側：謝秋野 国家能源局国家電力規劃研究中心副主任電力規劃設計総院院長

内 容	
冒頭挨拶 日本側：塚田裕之 資源エネルギー庁長官官房総合政策課企画官（石炭政策担当） 中国側：謝秋野 国家能源局国家電力規劃研究中心副主任電力規劃設計総院院長	
日本のクリーンコールテクノロジーの開発の現状 在問之 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）環境部統括研究員	
中国の石炭火力発電高効率発展について 高陽 国家能源局電力司	
中国大気汚染対策・発電所向けAQCS普及の現状と課題 豊原正隆 三菱日立パワーシステムズ株式会社/浙江菲達菱立高性能煙氣淨化系統工程有限公司副總經理	
中国電力工業発展の現状と石炭需給への影響 魏昭峰 中国電力企業連合会常務副理事長	
大崎クールジェン 酸素吹IGCC実証プロジェクトの概要と進捗状況 相倉健司 大崎クールジェン株式会社代表取締役副社長	
中国の石炭火力発電クリーンロジーの研究 董博 国家能源局国家電力規劃研究中心電力規劃設計総院系統規劃部高級工程師	
CCT（クリーンコールテクノロジー）の海外展開について 水野正孝 新日鉄住金エンジニアリング株式会社エネルギー・クリーンコール事業推進部 ジエネラルマネージャー	
温室効果ガス排出削減とCCTの推進 趙毅 中国華能集団公司科技環保部主任	
CCTの日中におけるビジネススペースの協力 塚本修 一般財団法人石炭エネルギーセンター理事長	
国華電力の石炭火力クリーン発電の実践 胡殿備 中国神華能源股份有限公司国華電力分公司节能环保部業務經理	
総括発言 中国側：魏昭峰 中国電力企業連合会常務副理事長 日本側：塚田裕之 資源エネルギー庁長官官房総合政策課企画官（石炭政策担当）	

日中長期貿易分科会

会場：ザ・プリンスパークタワー東京「はなみずき」
時間：13:30～17:05
司会：生田章一 日中長期貿易協議委員会事務局/一般財団法人日中経済協会専務理事

内 容	
主催者挨拶 日本側：村山均 日中長期貿易協議委員会省エネ等技術交流促進部会会長 電源開発株式会社代表取締役副社長 中国側：周惠 商務部対外貿易司商務参事官	
第1部：中古車市場の規範化と自動車リサイクル	
日本の自動車リサイクル制度の現状 坂本明 経済産業省製造産業局自動車課自動車リサイクル室長	
中国の使用済み自動車の回収・解体業界の発展状況 肖宋田 商務部市場体系建設司政改処処長	
資源循環型社会を基本とした自動車リサイクル（地球温暖化防止・汚染物質削減） 棟家国雄 株式会社啓愛社取締役常務執行役員車輛リサイクル事業部長	
自動車のリサイクル業界の発展課題と政策研究 黎宇科 中国汽車技術研究中心自動車産業政策研究室循環經濟部部長	
日本の中古車マーケット及びトヨタの取組について 平山修 トヨタ自動車株式会社U-Car事業部推進室長	
リサイクル部品流通プラットフォームおよび中国事業ご紹介 羽生武史 株式会社ブロードリーフ執行役員企画部長兼海外事業部長	
第2部：汚水・汚泥処理	
水質自動制御システムの紹介 同野谷真助 株式会社ウォーターエージェンシー常務取締役 瀧記亮 株式会社ウォーターエージェンシー研究開発部長	
都市の汚水処理場のグレードアップ改造の要点 杭世雄 北投水務集团有限公司執行董事	
乾燥・焼却における汚泥資源化技術 董琳 株式会社大川原製作所東京営業部東京産機営業課	
新たな環境における汚泥分野に関する日中企業協力の機会 錢鳴 中節能博美（湖北）環境工程技術有限公司總經理	
日東電工の水処理事業のご紹介 高柳敏彦 日東電工（中国）投資有限公司董事長兼日東電工株式会社執行役員 池窪文章 日東電工株式会社メンブレン事業部企画管理事業開発課長	
総括発言 生田章一 日中長期貿易協議委員会事務局/一般財団法人日中経済協会専務理事	

【日本企業の省エネルギー・環境関連設備・技術一覧】

日本企業省エネルギー・環境関連設備・技術一覧(2014-2015)
日本企業の省エネルギー・環境関連設備・技術一覧(2014-2015)
省エネルギー、新エネルギー、環境関連設備、循環経済、水処理、土壌汚染防止・土壌改良等
省エネルギー、新エネルギー、大気汚染対策、循環経済、水処理、土壌汚染防止・土壌改良等

前言	前文
概念図	概念図
企業名目	企業名目リスト
設備・技術的分类	設備・技術の分類別リスト
▶ 省エネルギー	▶ 省エネルギー
▶ 新エネルギー	▶ 新エネルギー
▶ 大気汚染対策	▶ 大気汚染対策
▶ 循環経済	▶ 循環経済
▶ 水処理	▶ 水処理
▶ 土壌汚染防止・土壌改良	▶ 土壌汚染防止・土壌改良
▶ その他	▶ その他
検索	検索

第9回フォーラムで文書交換された日中協力プロジェクト (26件)

中国建設廃棄物リサイクル率の向上に寄与する資源再生化技術の導入

(引进贡献于建筑装修垃圾回收率的资源再生化技术)

日本側：上海住友商事有限公司、住友商事(中国)有限公司

中国側：江蘇武進綠和環保建材科技有限公司、常州市武進綠色建築產業集聚示範區委員會

表面処理業における簡易計測センサーを活用した効率的排水管理システム

(利用快速簡易測定センサー技術，實現表面處理行業排水的高效管理)

日本側：オブテックス株式会社、株式会社共立理化学研究所

中国側：常州大学

スマートシティ分野における共同研究等フレームワーク協力プロジェクト

(智慧城市領域の共同研究等框架合作項目)

日本側：日本テピア株式会社、NPOアジア建設技術交流促進会

中国側：中城智慧(北京)城市規劃設計研究院

山東省蓬萊市雨山における「仙境雨泉水素水」の環境配慮型一貫生産プラントの導入及び水ビジネス関連工場の建設に関する覚書

(山東省蓬萊市雨山の「仙境雨泉水素水」の環保型生産一體化設備の引進以及水事業相關工廠建設的備忘錄)

日本側：AMEC株式会社

中国側：蓬萊国立生物科技有限公司

ダイオキシン類科楽世®生物検定法迅速分析の能力構築協力

(二恶英类科乐世®生物检测迅速分析法的能力建设合作项目)

日本側：株式会社日吉

中国側：北京雪迪龍科技股份有限公司

株式会社日立製作所、日立(中国)有限公司と蘇州太谷電力股份有限公司との電力需要側管理システム(DSM)及び関連システムの構築に関するモデル事業の推進に関する協力覚書

(電力需求側管理系統(DSM)及相關系統構建示範事業的推進)

日本側：株式会社日立製作所、日立(中国)有限公司

中国側：蘇州太谷電力股份有限公司

中国電子商会及び株式会社日立製作所、日立(中国)有限公司のグリーン製造に関するモデル事業の展開に関する協力覚書

(綠色製造相關示範項目的推進及開展的合作備忘錄)

日本側：株式会社日立製作所、日立(中国)有限公司

中国側：中国電子商会

VOC対策に関する協力協定

(关于挥发性有机物(VOC)治理领域的合作)

日本側：株式会社日立製作所インフラシステム社、日立(中国)有限公司

中国側：河北先河正源環境治理技術有限公司

IOT+製造業サービス転換技術革新に関する連携合意書

(关于在“物联网+制造业服务转型”相关领域共同开展技术创新的合作意向书)

日本側：株式会社日立製作所研究開発グループ、日立(中国)研究開発有限公司、日立(中国)有限公司

中国側：中国電子商会

日本の省エネ・環境技術の中国市場普及に向けた協力プラットフォーム事業

(日本节能环保技术推广至中国市场的合作平台构筑及运营项目)

日本側：日中環境協力支援センター有限公司

中国側：中日企業連誼會、曹妃甸工業區日中韓循環經濟モデル地区管理

日中土壌浄化技術プラットフォーム及び化学物質管理コンサルティング事業

(中日土壤修复技术平台及化学品管理咨询项目)

日本側：日中環境協力支援センター有限公司

中国側：北京正智遠東化工信息諮詢有限公司

中国城市・小城镇改革发展中心と日中経済協会との「スマートシティ等協力推進」に関する覚書

(中国城市和小城镇改革发展中心与日中经济协会就推进智慧城市等领域合作的备忘录)

日本側：一般財団法人日中経済協会

中国側：中国城市・小城镇改革发展中心

日本国関西・アジア環境・省エネビジネス交流推進フォーラムと中華人民共和国遼寧省環境保護産業協会との環境と省エネ分野におけるビジネス交流促進のための覚書調印

(日本国関西・亚洲节能环保商务交流推进论坛与中华人民共和国辽宁省环保产业协会就节能环保领域促进商务交流的备忘录)

日本側：関西・アジア環境・省エネビジネス交流推進フォーラム

中国側：遼寧省環境保護産業協會

日本国省エネルギーセンター及び中国国家省エネルギーセンター間の協力覚書の有効期間延長に関する合意書

(日本国节能中心与中国国家节能中心就合作备忘录有效期延长的协议)

日本側：一般財団法人省エネルギーセンター

中国側：国家節能中心

固体高分子形燃料電池の物質輸送メカニズム検討

(固体高分子型燃料电池的物质传输机制研究)

日本側：株式会社東芝

中国側：清華大学

OHラジカル電極水処理技術の開発

(羟自由基(hydroxylradical)電極水處理技術的開發)

日本側：株式会社東芝

中国側：清華大学

省エネルギーと環境保護に関する共同研究

(关于中日节能环保领域的共同研究)

日本側：日本エヌ・ユー・エス株式会社

中国側：中節能諮詢有限公司

中国ガラス業界における省電力事業の実施

(在中国玻璃行业进行节约电力事业)

日本側：旭硝子(中国)投資有限公司

中国側：中国建材國際工程集團有限公司

中国石炭火力発電所の環境改善及び効率向上に関する協議書

(关于中国燃煤火力发电厂环保与提效合作协议)

日本側：一般財団法人石炭エネルギーセンター

中国側：中国電力企業聯合會

中国四川省宜賓市南溪区西部創業園分散型エネルギープロジェクト

(中国四川省宜宾市南溪区西部创业园分布式能源项目)

日本側：丸紅株式会社

中国側：四川能投分布式能源有限公司

江蘇省沛県龍固産業園の低品位炭利用プロジェクトにおける効率向上及び環境対策に係る協力

(江苏省沛县龙固产业园区的低阶煤的高效利用及环保对策的合作)

日本側：一般社団法人エネルギー・環境グローバルコンソーシアム

中国側：江蘇省沛県龍固産業園委員會、江蘇天裕能源化学集團有限公司

ガス関連インフラの包括的協定の検討

(关于天然气有关基础设施项目的一揽子合作的探讨)

日本側：丸紅株式会社

中国側：四川省能源投資集團有限責任公司

有機溶剤再生利用工場建設における合意書

(有关建设有机溶剂再利用工厂的协议)

日本側：豊田化学工業株式会社、株式会社MIKI

中国側：江蘇省高郵市湖西新区經濟發展局

連続高速炭化装置に関する技術援助契約

(有关连续高速炭化装置的技术援助合同)

日本側：巴工業株式会社

中国側：中節能博美(湖北)環境工程技術有限公司

乾式電気集塵機における協業基本合意

(关于干式电气集尘机的基本合作协议)

日本側：古河産機システムズ株式会社、富士電機(中国)有限公司

中国側：中鋁山東工程技術有限公司

日中経済協会と中国国家発展改革委員会宏観經濟研究院對外經濟合作辦公室とのグリーン発展分野の經濟・技術実務協力強化に関する覚書

(日中经济协会与中国国家发展和改革委员会宏观经济研究院对外经济合作办公室关于加强绿色发展领域的经济・技术实务合作的备忘录)

日本側：一般財団法人日中経済協会

中国側：中国國家發展改革委員會宏觀經濟研究院對外經濟合作辦公室



第1～9回フォーラムにおいて合意された日中協力プロジェクト(285件)は、日中経済協会ウェブサイトで見覧可能です。

<http://www.jc-web.or.jp/>

